

■三遊亭好楽師匠インタビュー

今回岩舟町で開催される「二人会」にあたり、三遊亭好楽師匠にお話をうかがいました。主なやり取りは以下のとおりです。

(作成・岩舟町広報担当)

問) —好楽師匠が落語家になられたきっかけを教えてください

親父が子ども8人を残して他界した後、おふくろが男親と同じように厳しく我々を育ててくれた。怖いおふくろでした。そのおふくろが唯一笑顔を見せたのがラジオの落語名人会でした。そのうち私も聞く様になり好きになりました。

問) —今回岩舟町で開催される「好楽・小遊三二人会」についての意気込みをお聞かせください

笑点のメンバーであり前座の時代から一緒に勉強会をやって来た仲間ですので、年齢もほぼ同じ、好みも一緒、一番気が合うライバルです。負けてなるものかという気持ちで演りたいです。

問) —最近落語の人气が上昇していると思いますが、その人気の秘訣と
うか落語の面白さはどこにあると思われますか？

昔は落語というと年寄りが聞く物と思われていましたが、とんでもない。若い人達が寄席に来る様になったからだと思います。

問) —2012年が始まりましたが今年はどうな年にしたいと思っ
っしゃいますか？

お弟子さん達が毎日しゃべれる場所を作りたいと思っております。

好楽師匠、お忙しいところ快くインタビューを引き受けてくださり、ありがとうございます。「二人会」楽しみにしています。